

農業土木学プログラムの 教育における3つのポリシー

1, ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ 地球環境の変化に適応した良好な農業農村基盤の整備に関わる高度な工学的能力を修得
- ・ 先端的な専門知識をもとに、地域の社会及び自然環境の変化を考慮して、農業農村基盤に関わる実務的問題をローカルかつグローバルな視点で分析・解決し、地域をデザインする能力を修得
- ・ 社会のニーズや自然環境の変化をとらえ、農業土木学の新技術を創造する能力を修得
- ・ 国際社会でも通用する技術展開能力、コミュニケーション能力、キャリア開発能力を修得

2, カリキュラム・ポリシー（学修・教育目標を達成するための教育体系）

- ・ 建築学・土木工学・農業土木学を基礎として、ローカルかつグローバルな視野で地域デザインを工学的に捉え実践するための境界・学際領域科目を配置
- ・ 農業土木学分野における先端知識の修得及び新技術の創造のための専門科目を配置
- ・ 実務的問題への対応力及びキャリア開発能力を育成するために、国内外でのインターンシップ・実習・調査などを単位化

3, アドミッション・ポリシー（入学者 受入れの方針）

- ・ 農業土木学を学修するために必要な土、水、農村環境に関する基礎学力を有する人
- ・ 地球環境・地域社会の変化と農業農村基盤との関わりを学び、ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- ・ 農業土木学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人